

地域活性化の取組におけるソーシャル・イノベーション創出に 関する研究－佐賀県有田町を事例に－

熊澤 慎太郎¹

Research on Creating Social Innovation in Regional Revitalization Efforts －A Case Study of Arita Town, Saga Prefecture－

KUMAZAWA Shintaro

1. 背景と研究目的

日本の労働生産性が他国比で低い状況が長く続いている。それに対し、筆者は新しいことに挑戦し、新しい価値を生み出そうとするマインドが日本には決定的に欠けているように感じられることに問題意識を持っている。そこで、人口減少や産業衰退などの課題が顕在化している地域において、主要なステークホルダーを巻き込み、産官学金連携という形で、若い世代が様々な挑戦を行い、地域が抱える喫緊の課題を解決する仕組みを作ることが、挑戦を通じた価値創造の成功事例となると考え、佐賀県有田町における学生とのプロジェクトを進めている（熊澤 2024）。

2. 先行研究

先行研究における「ソーシャル・イノベーション」については、学術的に多様な定義があるが、筆者は、野中・廣瀬・平田（2014）の定義を採用し、研究を進めている。その定義では社会変革を起こすには「衆知創発の SECI モデルプロセス」が重要とされ、そのプロセスを持続させる役割は実践知を持つリーダーが担うとされている。筆者はこのようなリーダーがいない場合に、若い世代の行動がきっかけをつくり、必ずしもリーダーでない大人たちが若い世代の行動をサポートすることで、このプロセスを持続させる役割を果たし、ソーシャル・イノベーションを達成するのではないかとの仮説を持ち、そのプロセスの実現を目指し、研究を進めている（熊澤 2023、熊澤 2024）。

*本研究は 2024 年度昭和女子大学現代ビジネス研究所の研究助成を受けたものである。

¹ 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員

3. 佐賀県有田町に関わるプロジェクトの活動報告

3.1 よかね ARITA プロジェクトの概要

佐賀県有田町（以下、有田町）との地域活性化に関する協働プロジェクト「よかね ARITA プロジェクト」を 2021 年度から開始し、2022 年 3 月に有田町と本学で「昭和女子大学と有田町との連携協力に関する包括協定」を締結。4 年目となる 2024 年度は、学生メンバー 8 名、アドバイザーである磯野彰彦特任教授および筆者の計 10 名で活動を行なった。

3.2 現代ビジネス研究所と有田町共催でのイベントの開催

今年度は、有田町の地域活性化に関わる学生コミュニティの立ち上げをテーマに活動を行い、学生メンバーの企画・運営により開催したイベント（9 月：有田町、11 月：本学）に、合計 25 名の学生が参加し、学生コミュニティを立ち上げるきっかけをつくることができた。

3.3 秋桜祭での有田焼オリジナルアクセサリーの販売

今年度も、有田焼アクセサリーの製造・販売を手掛ける cocosara の協力により、学生メンバーが有田焼のオリジナルアクセサリーの商品企画を行い、秋桜祭および学内販売により、合計 214 個を販売することで、有田焼の認知度向上に寄与することができた。

4. 今年度に得られた示唆と来年度への展望

今年度の活動は、協働先や学内との各種調整を学生メンバーがほぼ独力で行い、学外の学生の方々を巻き込む等の観点で大きな進展があったと考えている。来年度は「有田町で働く若い世代を増やすにはどのようにすればよいか」をテーマに、今年度に立ち上げのきっかけをつくった学生コミュニティを通じて、有田町の活性化に寄与することを目指したい。

<謝辞>

「よかね ARITA プロジェクト」が今年度 4 年目の活動となり、年々具体的な取組に深化できたのは、有田町や本学の関係者の多大なるご支援、および今年度の学生メンバー 8 名の熱意ある取組によるものであり、ご協力いただいたみなさまに深く感謝申し上げたい。

<参考文献>

熊澤慎太郎（2023）「産官学金連携による地域活性化の仕組みに関する研究－佐賀県有田町を事例に－」昭和女子大学現代ビジネス研究所 2022 年度紀要、

http://swubizlab.jp/wp/wp-content/uploads/2023/03/2022_010.pdf,2025.1.25

熊澤慎太郎（2024）「地域活性化の取組におけるソーシャル・イノベーション創出に関する研究－佐賀県有田町を事例に－」昭和女子大学現代ビジネス研究所 2023 年度紀要、

https://swubizlab.jp/wp/wp-content/uploads/2024/03/2023_028.pdf,2025.1.25

野中郁次郎・廣瀬文乃・平田透（2014）『実践ソーシャル・イノベーション』千倉書房